

モニターの

マジック注目

今月は宮村 寛子さんが登場します。

宮村さんは、「近所同士の付き合いが希薄になってしまっている現在、お年寄りから子どもまでみんなが安心して生活できる環境づくりについて提言されます。

心豊かに暮らせる環境づくりを

二十一世紀の子どもたちの多くは経済的、物質的な不便さを感じていないのでしょう。

しかし、心の豊かさという点ではどうでしようか。

世間では、子どもやお年寄

りが関わる悲しい出来事があまりにも多すぎます。地域社会での人ととの絆が弱くなつてのことなのでしょうか。

一昔前であれば、我が家が成長を見守れた。子どもがすぐそばで元気に子どもたちは遊び、ご近所同士で子ども

の成長を見守れた。子どもが一人で遊んでいれば、隣のおばあさんが声をかけ遊んでく

な地域社会でよいのでしょうか。せめて、自分達の住んでいる地域は、お互いが安心して暮らせる心豊かな環境にしたいものです。



みんなが一緒に遊べる施設を

れたものです。今日はこんなこと、あんなことをして遊ん

でいたと情報交換をし、近所に「安心と信頼」がありまし

たが、今は「人に用心、用心」となっています。

学校の門は堅く閉ざされ、のぞいてみることも許されない感じです。子どもにうつかり声もかけられない。声をかけようものなら親に背を向けられ怪しまれる始末です。何

といふ場所である。

また、現在の日本では老人人口の方が年少人口より多いといわれるが、もれなく笠岡

市も小学校、中学校の統合が

進み、過疎化している状況ですか。せめて、自分達の住んでいる地域は、お互いが安心して暮らせる心豊かな環境にしてみたい、住みたいと感じる魅力的な要素のつまつた玉手箱のような楽しい環境づくりをしてはどうかと思います。

例えば、昆虫が集まり、足を浸したり、魚釣りができる小川、木登りや芝生の中を素足で走り回れる公園、大人も子どもも一緒に楽しめる料理教室、もの作り体験、自然科

学の観察、実験、天体観測、農業体験、音楽や絵画に親しめるコーナーなど。

そこで、提案ですが、笠岡市にお年寄りや親も子どもも一緒になつて自然や科学に親しみ、遊べるような施設をつくつてみてはどうでしようか。

子どもをめぐつてのご近所同士の付き合いが希薄になりつつある中でも、この施設に

くれば一日中、子どもと大人、親と親がふれあい、お互いが感性を磨き心豊かになれる、

このページのご意見・ご感想をお待ちしています。

また、「市政についての質問・提言」などがあれば併せてどうぞ。

お便り：〒714-8601 笠岡市中央町一一

企画政策課モニター係

☎(0)2110

FAX(0)0228

黄の色の しばらくづく ひまわりの中歩む人 生き生きとして

このページのご意見・ご感想をお待ちしています。

また、「市政についての質問・提言」などがあれば併せてどうぞ。

お便り：〒714-8601 笠岡市中央町一一

企画政策課モニター係

☎(0)2110

FAX(0)0228

我が街笠岡市には幸いにして広大かつ自然が広がる干拓地があります。春には菜の花畑となり、夏にはひまわりが咲き季節ごとに楽しみがある。

例え人工的な自然であっても、それを守り維持していくことは環境保全の意義を学ぶことにもつながるのではないかでしょうか。施設が無理なら小川で虫や魚が生息し鳥が集まり、木陰で人々が憩い、子どもたちが遊べるように整備してもらいたいと思います。

そうすれば、子どもたちは地域や環境から守られて、心豊かに成長し、人々は安心して老後も暮らしていくのようになります。子どもも若者もお年寄りもみんな我が街のかけがいのない「宝」なのであります。